

効果的な保健事業の推進を目指して

★令和2年1月31日

令和元年度医療費適正化に向けた医療保険者合同学習会

熊本県市町村自治会館2階講堂において、熊本県保険者協議会主催のもと「令和元年度医療費適正化に向けた医療保険者合同学習会」が開催され、医療保険者の担当者81人が参加した。

本学習会は、「被保険者の生涯をとoshした健康づくりのための効果的な保健事業の実施と保険者間の連携促進を図ること」を目的に開催しており、被用者保険と国民健康保険の保険者が、保健事業に関する取り組みの事例を共有する機会となっている。



藤原杏子氏

今年度の学習会は、伝達講習と事例報告、グループ討議で構成され、伝達講習では、国立保健医療科学院が開催する「生活習慣病対策健診・保健指導の企画・運営・評価に関する研修」に参加した熊本市国保年金課の藤原氏が、研修の内容や利用した分析ツールの紹介、受講前後で保健事業の企画を立案する際に変化した点などについて報告し、学習会参加者に対して情報共有を図った。



鎌田修央氏



福島ひとみ氏

また、事例報告では、全国健康保険協会熊本支部（協会けんぽ）の鎌田氏、福島氏が、

「特定健診・特定保健指導にかかる取組みについて」と題して、加入者が利用しやすい特定健康診査や特定保健指導の取組みについて報告した。

さらに、相良村保健福祉課の池田氏が、「PDCA サイクルを活用した保健事業の実施について～実態把握から体制整備へ～」と題して、保健事業の実施状況を見える化し、国保運営協議会委員を含む関係者間で評価することで、進捗管理や課題の検証につなげ、効果的にPDCA サイクルを活用していることについて報告した。



池田文美氏

グループ討議では、事例報告の内容に加えて、各保険者の取組みについても活発な議論が交わされるなど、学習会全体をとおして保険者間の連携と情報共有を促進する貴重な場となった。

【 伝達講習 】

『生活習慣病対策健診・保健指導の企画・運営・評価に関する研修』

熊本市国保年金課 保健師 藤原杏子 氏

【 事例報告 】

① 『特定健診・特定保健指導にかかる取組みについて』

全国健康保険協会熊本支部企画総務部保健グループ グループ長 鎌田修央 氏
保 健 師 福島ひとみ 氏

② 『PDCA サイクルを活用した保健事業の実施について～実態把握から体制整備へ～』

相良村保健福祉課 保健師 池田文美 氏